**新型コロナウイルスの影響による多様な公益事業活動の存続危機に対する****「持続可能な民間公益活動組織団体支援」に関する要望書に関する賛同のお願い**

**１．ご賛同のお願い**

「誰一人取り残さない」持続可能な民間公益活動に対する助成の実現を

　活動分野・法人格を問わず、できるだけ多くの市民活動の力を集めて、「持続可能な民間公益活動組織団体支援」の暫定措置に関する要望活動を行います。

　この新型コロナウイルス感染症の危機下では、民間公益活動の【維持】自体が重要な課題となっており、たとえ一時的にでも、この【維持】のために活用することが、長期的にその後の発展を促すことにつながると考えます。

　世論を高め、議員に呼びかけ、透明性の高い議論の場をつくっていくために、活動分野や法人格を問わず、全国各地の市民活動・民間公益活動から、多くの賛同者が必要です。個人または団体どちらでも賛同できます。この賛同フォームで「ご賛同」の意思表示を頂けますよう、心よりお願い申し上げます。

**２．要望の概要**

①　自粛要請及び自主的な自粛により利用者減少を余儀なくされ、実績が上がらず収入減となる組織・団体への前年度基準を勘案した多様に想定される補助金を活用して補填を行うこと。

②　新たな生活様式により、三密を避ける等感染拡大防止に関する補助金を活用し、補填を行うと共に、公共施設等の使用負担の軽減措置を行うこと。

③　熊本県ないし、市町村単位で要支援者のQOL（生活の質）の向上に資する活動を行う組織・団体に対する事業助成や資金支援を行うこと。

要望書の全文も、下記からぜひご覧ください。

●新型コロナウイルスの影響による多様な公益事業活動の存続危機に対する「持続可能な民間公益活動組織団体支援」に関する要望書（PDF）

**３．要望書の提出先**

熊本県及び熊本市等、関係各所にできるだけたくさん要望します。

**４．賛同意思表示の募集期間**

2020年6月30日（火）までに意思表示を頂いた個人・団体のお名前を、要望書に記載します。

ただし、募集途中でも議員等に提出する必要がある場合は、途中集計までの記載で出すことがあります。また、募集期間を延長する場合もあります。

**５．記載事項の公開範囲**

（１）お名前・都道府県

ご賛同頂ける方は、個人または団体のお名前と市町村をお書きください。

個人の場合、ご所属と役職もお書きください。所属がない場合は「なし」で結構です。

お名前・所属先・肩書・都道府県までを要望書に記載します。

個人賛同者は、その所属組織を代表するものではないことも付記します。

（２）連絡先メールアドレス

非公開。要望活動の経過や結果等をお知らせするためだけに使用します。

（３）ご意見

非公開。今後の要望活動の参考にいたします。記載なしでも構いません。

**６．発起人**

＊現在追加依頼中で増える予定です。

＊注意書きがない限り、個人の資格での呼びかけであり、団体を代表していません。

神保　勝巳　熊本ＹＭＣＡ　副総主事

宮原美智子　一般財団法人くまもと未来創造基金　おもやい理事

福島　貴志　特定非営利活動法人自立応援団　理事長

生駒　春美　ＮＰＯ法人　子ども・障がい者福祉基金熊本　理事

７．要望活動の中止や変更

政治状況や議員、他休眠預金制度関係者との交渉によって、途中で内容の変更・中止、また第二弾以降の要望書の再提出が必要になる可能性もあります。

要望活動の節目・大幅な変更が必要になる場合は、賛同者の皆様に、随時メールでご連絡いたしますので、ご確認ください。

下記メールアドレス欄には、[ npo.iob@m8.dion.ne.jp]からのメールを受信できる設定のアドレスをお書きください。

８．この件に関する連絡先

本件に関するお問合せは、下記メールアドレスへお寄せ下さい。

npo.iob@gmail.com

事務局担当：池本桂子

９．特記事項

この活動は、特定の政党・政治家の支援・支持・反対を目的とするものではありません。

呼びかけ人・賛同者の確認 \*

【呼びかけ人】ご自身の賛同だけでなく、積極的に賛同者を増やしてくださる方。【賛同者】ご自身が賛同してくださる方は、下記の１～４何れかに○をつけてご回答ください。

１　個人で呼びかけ人になる

２　個人で賛同者になる

３　団体で呼びかけ人になる

４　団体で賛同者になる

団体名

役職・氏名

住所

連絡先